

バードフィーダー（商品番号：BF001, BF002）取り扱い説明書

1. バードフィーダーとは

人間が食事をレストランや家のダイニングでとるように野鳥も果実、種子、昆虫などの食べ物を木の枝や地面の上で食べます。春から夏にかけては、自然界には比較的野鳥の食べ物が存在しますが、秋から冬にかけては食べ物が少なくなります。中には食べ物に困り越冬できずに死んでいく野鳥もいます。この自然界の食料が少ない時期に、野鳥のレストランの代わりにするものがバードフィーダーです。



2. バードフィーダーの機能・仕様について

- ・本製品は野鳥に給餌をするための器具です。餌を入れるための蓋代わりの屋根、紐（シュロ縄が添付されています）で吊るすための支え棒、両脇の穴と前面下部から餌が給餌されます。前面はアクリル板で透明ですので餌の残量を確認することができます。
- ・本製品は利用する餌として穀類（ヒエ、アワ、ヒマワリの種など）専用のバードフィーダーです。
- ・両脇の給餌穴は、餌が穴からこぼれにくい構造になっています。
- ・野鳥が餌を食べた分、上部に餌がある限り、両脇の給餌穴と前面下給餌部には自動的に餌が満たされる構造になっています。
- ・サイズ：幅 180mm × 奥行 170mm × 高さ 230mm
- ・材質：木製（桐、米ツガ（丸棒部分））、アクリル（前面仕切り板）

3. バードフィーダーの設置方法

（1）バードフィーダーを設置する時期

- ・自然界に野鳥の食べ物が少なくなる秋から冬の時期に限定して設置しましょう。春から夏に設置することは、必要以上に野鳥が人間に頼ることになり、野鳥ではなく飼い鳥になってしまいます。

（2）バードフィーダーを設置する場所

- ・庭の樹木の枝、軒先、園芸棚などから紐で吊るしましょう。
- ・バードフィーダーの前面が野鳥を観察する位置に向くように吊ると、餌を食べにやってきた野鳥が見やすくなります。
- ・マンションなどの軒先にバードフィーダーを吊るす場合、やってきた野鳥の糞で周りの方の洗濯物や車などが汚れてしまう可能性があります。十分注意してください。

4. バードフィーダーの維持

- ・ 蓋代わりの屋根を開け、餌を上から背板とアクリル板の間にいれます。
- ・ 餌を入れる量は満杯でも少量でも構いません。少量入れて様子を見るのもよいかもしれません。
- ・ 両脇の給餌穴より上まで餌を入れましょう。
- ・ 餌はヒエ、アワ、ヒマワリの種などを入れましょう。
- ・ 餌は野鳥のまき餌として市販されています。
- ・ 餌が少なくなったら補充してあげましょう。
- ・ 春になったらバードフィーダーは取り外しましょう。

5. バードフィーダーの楽しみ方

- ・ 冬場は、野鳥は食料が不足しているので、バードフィーダーを設置した場所が野鳥の行動圏内であれば、設置後数日もしないで野鳥はやってきます。バードフィーダーに餌を食べに来る野鳥をそっと観察しましょう。
- ・ 我が家ではダイニングの窓から見えるブドウ棚にバードフィーダーを冬の間吊るしています。餌は市販の野鳥のまき餌を利用しています。シジュウカラやヤマガラがやってきて餌をついばんでいます。スズメは餌が欲しいのですが、ぶら下がるのが苦手なので、最初は断念していました。しかし数日もするとぶら下がって餌を食べる方法を覚えて、バードフィーダーを利用しています。
- ・ キジバトは餌があるのでブドウ棚に降りて、歩いてバードフィーダーの上までやってきますが、紐でぶら下がったバードフィーダーに止まることはできません。うらめしそうにしていますが、そのうち諦めて去っていきます。

6. 環境からみたバードフィーダー

- ・ 都市周辺部では、樹木のある場所や田畑が少なくなってきています。樹木は実や種をつけ、それは野鳥の食料になります。田畑で栽培される稲や麦、トウモロコシなどの穀類は野鳥の食料になります。
- ・ そのため、その代用として庭の樹木の枝、軒先、園芸棚などにバードフィーダーを吊るすことは野鳥が生きていくために必要な採食条件を満たす場所を提供することになり、野鳥の活動範囲を広げることにつながります。
- ・ 野鳥が生息していくためには、その行動範囲内に採食場所、水飲み場、水浴び場、休息場所、営巣場所がある必要があります。どれかひとつ欠けても野鳥はその場所では暮らして行けません。
- ・ 従いまして、みなさんが庭の樹木の枝、軒先、園芸棚などにバードフィーダーを吊るすことで野鳥の採食場所を提供することになりますが、設置したバードフィーダーを中心とした野鳥の行動圏内に営巣場所、休息場所、水飲み場、水浴び場がなければ野鳥が設

置したバードフィーダーに餌を食べにやってくる可能性は低くなります。

- ・ 設置したバードフィーダーに野鳥が餌を食べに来る確率を高めるためには、営巣場所としての巣箱の設置、休息場所としての樹木の植栽、水飲み場、水浴び場としてのバードバスの設置が有効です。
- ・ 多くの方々が庭の樹木の枝、軒先、園芸棚などにバードフィーダーを吊るすことで、その地域の野鳥の暮らしやすさは向上していきます。
- ・ 庭などへのバードフィーダーやバードバスの設置など人為的な行為はすべきでないといった意見の方もいらっしゃるかと思います。しかし野鳥たちが暮らす環境が減ってしまった原因を考えてみてください。人類の数（人口）が増え、その行動範囲が広がり、住宅確保や食料調達などのために、森林破壊や土地改良を繰り返してきました。すべて人為的行為です。人為的行為で破壊した自然を元に戻すためには、放置しておいてはなかなか元には戻りません。人為的行為で自然の再生を手助けしてあげる必要があります。
- ・ 開発された都市近郊の場所を元の森林や草原に戻すことはできません。なぜならそうすると私たち人類が暮らしていけなくなります。しかし庭などへのバードフィーダーやバードバスの設置などの人為的な行為により、野鳥が棲みやすい環境を創りだすことができます。

7. みなさんからの情報をお寄せください

- ・ 設置したバードフィーダーに野鳥がやってきましたら以下の情報を是非メールにてこちらへご連絡ください。
- ・ 日時
 - ・ 場所
 - ・ 野鳥の種名（シジュウカラなど。わからない場合は大きさ（スズメ大など）、色などの特徴をお知らせください）
 - ・ 野鳥の行動（餌を両脇の給餌穴から食べたなど）

以下のホームページなどで情報共有を図っていきたいと思います。

以上



Ver. 1.0 2015年10月3日

発行 畠山環境技術士事務所

〒256-0802 小田原市小竹 822-101

e-mail : bird.hatakeyama@jcom.zaq.ne.jp

http://birdtherapy.jimdo.com